

## 仕様

機器の分類	一般医療機器
一般的名称	血漿融解装置
販売名	FFPバッグ解凍器
型式	FP-40
品番	FP-40N
解凍方式	加温水槽方式（振盪機能付き）
解凍温度	37℃
対応バッグ	新鮮凍結血漿 120ml, 240ml, 480ml（日赤FFP全サイズ）
バッグ数	4バッグまで
電源定格	AC100V 8A
外形寸法 重量	幅280×奥行530×高さ450mm 10.5kg(空水時) 28.5kg(標準水位給水時)
補助機能	水温モニター / タイマー報知 / 減水検知 / 温度ログ / 転倒防止アダプター
安全機能	漏電遮断 / 過電流遮断 / 水温異常遮断 / センサー異常検出
電源コード	3m アース付3Pプラグ
容積 内寸法	18リットル(基準水位にて) 幅220×奥行420×深さ300mm
排水	ホース、コック装備
プロテクタバッグ 品番:FP40-P005(消耗品)	材質:ポリエチレン / ナイロン 多層フィルム 有効内寸:幅185×高さ305mm

※使用地域(電源周波数)により、Eタイプ(50Hz)とWタイプ(60Hz)があります。

▶ 新鮮凍結血漿(FFP)を使用する際は、**30~37℃で急速に融解**すること。

参考出典:「血液製剤の使用指針」平成17年9月(平成28年6月一部改正)厚生労働省医薬・生活衛生局血液対策課

▶ 融解温度が低いと沈殿※(クリオプレシピテート)が析出し、フィルターの目詰まりをおこすことがあります。また、融解温度が高すぎると蛋白質の熱変性によりフィブリンやフィブリノゲンの変性したものが生じ、使用できないことがあります。なお、不適切な温度での融解は凝固因子活性の低下等をまねき、本来の輸血効果が得られません。

※沈殿は30~37℃で再融解します。

参考出典:「新鮮凍結血漿(FFP)の融解方法について」日本赤十字社 輸血情報0902-117

・形状および仕様は予告なく変更する場合があります。  
・記載は2021年10月時点です。

販売業者

**SBカワスミ株式会社**

〒210-8602 神奈川県川崎市川崎区殿町3丁目25番4号  
TEL 044-589-8070 URL www.sb-kawasumi.jp

製造販売業者

**HOKUYO**

北陽電機株式会社

〒364-0006 埼玉県北本市北本 1-156  
TEL 048-591-3618 FAX 048-591-3619  
E-mail info@hokuyo-denki.co.jp

FP40N-2109-01-IBMA

医療機器製造販売業許可番号 11B3X10047



# 解凍器 FP-40 New

FFPを適切な温度で解凍



**HOKUYO**  
北陽電機株式会社

品番:FP-40N  
販売名:FFPバッグ解凍器  
型式:FP-40  
製造販売届出番号 11B3X10047000001



# シンプルな操作性。シンプルなかたち。

その外観に隠された、ユーザー本位の発想。

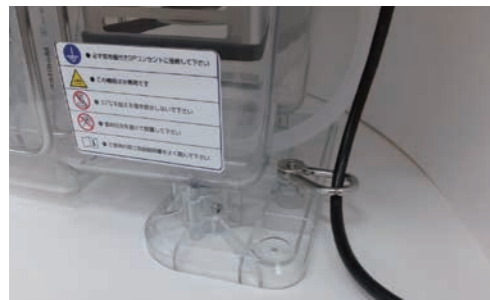
## ▼ これなら置ける、コンパクトサイズ

最小で28×53cmの床面積があれば設置可能です。総重量も10.5kg(空水時)と、移動に便利なライトウェイト。この機器サイズに4バッグ分のホルダーを備え、同時に解凍が可能です。



## ▼ 転倒しにくい水槽アダプターを付加(新機能)

水槽の下側にアダプターを追加し、装置本体を傾けても、電源ケーブルを引っ掛けても転倒しにくい構造になり、安定性が向上します。



## ▼ FFPにやさしい保持構造

凍結したFFPは、衝撃や突起物の接触で破損することがあります。この問題を解決するため、独自形状のホルダーとプロテクタバッグを新開発。FFPをソフトに包み込んで保持し、破損のリスクを激減させる仕組みです。そのプロテクタバッグには、柔軟で強靱な特殊構造フィルム(※1)を採用し、水槽からバッグへの温水の浸入やバッグから水槽への液漏れなどを防ぎ、衛生面でも配慮しました。もちろん、有害とされる物質の溶出もなく環境面の配慮も万全。

バッグ寸法は日赤FFP全サイズに対応しています。

(※1) ナイロン、ポリエチレンの5層構造。耐ピンホール性、耐冷・耐熱性に優れます。

## ▼ かんたん操作

電源オンするだけで水槽内の温度を解凍に最適な37°Cに自動制御。水温が37°Cに到達すると最上部のモニターランプが黄色から緑に変わってお知らせ。解凍の準備が出来たことが一目でわかります。解凍を始めたら、タイマー機能を使って任意の時間後にランプの点滅と音で解凍時間の到来を知ることが出来ます。

## ▼ 透明な水槽

FFPの解凍状態が見える、という安心感。FP40の水槽は、全面が透明です。コンパクトな18ℓタイプながらFFPバッグを立てた姿勢で浸漬できる深型設計。しかもその素材は内分泌かく乱物質—いわゆる環境ホルモンを溶出しないPMP(ポリメチルペンテン)樹脂を採用し、環境にも配慮しました。

## ▼ 全面加温プラス振盪機能で解凍

FFPを立てた姿勢で全体浸漬できるため、FFP全体へ均一に温度が伝わり、理想的、効率的な加温が可能。さらに、ビルトインされたバッグ振盪機能により、短時間での解凍が可能となっています。



振盪イメージ

## ▼ FFPの出し入れスムーズ、ホルダー固定機能

FFPを保持するホルダーは、FFPの出し入れが楽に行えるよう、簡単に水槽の上部で固定/解除ができるよう工夫されています。



ホルダー固定 FFP投入



固定解除 ホルダー降下



浸漬完了

## ▼ 取り外して、すっきり洗浄

各構成部品は水槽から簡単に分離でき、水槽単体で丸洗いが可能。また、プロテクタバッグをこまめに交換することで、FFPの触れる部分をいつも清潔に保つことができます。



## ▼ 解凍温度の確認に便利なログ機能

解凍時間タイマーの計時中は自動的に水温のMin/Maxを記録。ボタン操作によりパネル面に値の表示ができ、リセットも可能。リセットしない限り、電源を切っても値は保存されています。

## ▼ EMC適合の一般医療機器保護機能の向上

医療機器のEMC規格であるJIS T0601-1-2(2012)に準拠。オペ室等での使用を考慮し、周囲に放射する電磁雑音レベルを極めて低く抑え、他の機器に悪影響が出ないよう配慮しました。電気安全性においては、漏電遮断器を本体に内蔵、水温の過上昇の防止、ヒーターの空焚きを防ぐ減水検知機能、センサー異常検知など万全の保護機能を備えています。